

イベントニュース 2018

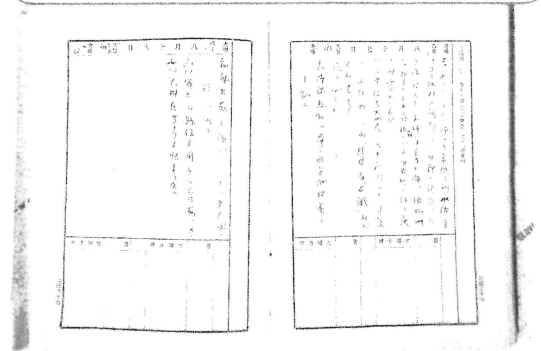
EVENT NEWS

7月6日(金)～10月4日(木)

企画展示室及び
エントランスホール

観覧
無料

当時の資料などから黎明期の常願寺川で行われた治水砂防について紹介いたします。



富山県技師高田雪太郎が残した日記

富山県技師高田雪太郎はオランダ人技師ヨハニス・デ・レイケとともに常願寺川改修工事に従事しました。高田が残した日記には明治24年8月に常願寺川調査に訪れ、デ・レイケと話合ったことが記録されています。日記には「デレーケー工師ヨリ常願寺川源流ノ景況及土砂防止困難ノ事二付種々談話アリ」と、上流立山カルデラの土砂流出を防ぐことは困難であると書き記されていました。

フィールドウォッチング
秋の弥陀ヶ原とカルデラ展望

要
申込

日 時:9月29日(土)
8時～17時

定 員:40名(先着順)

参加費:大人4,500円(子ども3,000)
(昼食付き)

弥陀ヶ原を散策しながら、地質地形や動植物、立山カルデラについて観察します。

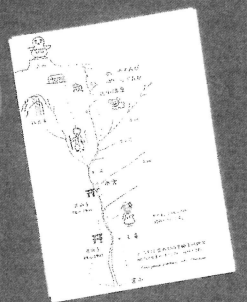
問い合わせ:立山カルデラ砂防博物館 学芸課
TEL:076-481-1363



富山県が築いた黒川第1号堰

小正10年から立てられた黒川第1号堰は、黒川の水を調節し、弥陀ヶ原の水害を防ぐために築かれた。この堰は、明治24年に築かれた。この堰は、明治24年に築かれた。この堰は、明治24年に築かれた。

クイズを解いて博物館
オリジナルプレゼント
をもらおう!



山と川と人のミュージアム



富山県 立山カルデラ砂防博物館

TEL 076 481-1160

FAX 076 482-9100

ホームページURL <http://www.tatecal.or.jp/>

